

平成30年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会 会議録

1 会議名 平成30年度木更津市社会教育委員会議第2回定例会

2 開催日時 平成30年10月9日（火）午後2時～4時

3 開催場所 木更津市役所朝日庁舎 会議室A1

4 出席者名

委員：佐藤千明、鉢村美幸、榛澤敦子、板垣 勲、安藤順子、白石和義、中村みどり、
城戸富貴、吉田裕子、鶴岡俊之、橋本ミチ子、蘇我芳章、李 程英、地曳昭裕、
内田慎一郎、石村比呂美、熊本秀樹（17名）

事務局：高澤茂夫教育長、岩埜伸二教育部長、野口琢郎生涯学習課長、
鈴木和代副主幹、木村容子副主幹、秋川裕也事務員（6名）

協議事項（3）説明のため各課長、館長等出席

稲本章宏参事兼文化課長、稲葉昭智郷土博物館金のすず副館長、
石井一彦参事兼中央公民館長、渡邊雅夫参事兼図書館長（4名）

5 協議事項

（1）各種審議会・協議会報告について

（2）第53回君津地方社会教育推進大会について

（3）社会教育施設（公民館、図書館、博物館）の現状と課題について

（4）その他

6 会議の公開・非公開の別及び傍聴人の数 諮問答申のみ非公開 傍聴人0名

7 資 料

平成30年度社会教育委員会議第2回定例会次第

平成30年度社会教育委員会議第2回定例会資料

【資料1】平成30年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策

【資料2】木更津市の社会教育施設概要（公民館・図書館・博物館）

【資料3】平成29年度重点目標に対する取り組み・成果と課題（木更津市立公民館）

【資料4】平成29年度事業報告並びに平成30年度事業計画（木更津市立図書館）

【資料5】木更津市郷土博物館金のすず施設概要

【その他】・第53回君津地方社会教育推進大会

・平成30年度公民館文化祭（まつり）視察研修の開催について

・木更津市生涯学習フェスティバル2018記念講演会募集チラシ

・第53回千葉県社会教育振興大会開催要項

・社教情報No.79（冊子）

・社教連会報No.83（冊子）

・わたしのまちの社会教育委員さん（リーフレット）

8 会議の内容

事務局 これより平成30年度木更津市社会教育委員会会議 第2回定例会を開催いたします。
本日は、委員18名中、17名の出席であり、欠席は1名であります。従いまして、社会教育委員会会議運営規則第3条第2項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございしますので、本日の会議は成立しております。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。本日、傍聴人はおりません。以上報告いたします。

それでは、はじめに内田議長からご挨拶をお願いいたします。

内田議長 皆さんこんにちは。第1回目の会議では、今年度どのように進めたら良いかというようなお話だったかと思いますが、本日は、事前にお配りしてある資料に基づき進めていきますが、皆様から活発な意見が出るとお思いますので、その時のために関係する部署の課長さんや館長さんが出席されています。ぜひ活発な意見をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、高澤教育長よりご挨拶を申し上げます。

高澤教育長 皆さんこんにちは。大変お忙しい中、第2回目の定例会にご参加いただき、誠にありがとうございます。早いもので、平成30年度も半分が過ぎましたが、これから木更津市主催、或いは教育委員会関係の行事が数多く開催されます。10月下旬からは公民館を中心に各地区の文化祭が催されます。11月18日には生涯学習フェスティバルもあり、社会教育委員の皆様にも様々な形でご協力をいただくことになろうかと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、9月議会も9月21日をもって終了いたしました。このところ、教育委員会に対する質問が大変多くなり、今回も10名の議員の方から様々な質問を頂きました。

社会教育につきましては、「中央公民館の仮移転について」「今後の公民館や社会教育のあり方について」「家庭教育支援について」の質問を頂きました。議員の皆様も社会教育に対して、興味関心の高さが伺えるような質問でした。教育委員会としましても、役割を十分に果たしていけるよう今後も頑張っていきたいと思っております。

2点ご報告をさせていただきます。1つ目は、本日ご欠席ではございますが、過日、7月14日に開催されました第53回君津地方社会教育推進大会におきまして、平田和世委員が表彰を受けられました。これまでのご尽力に感謝を申し上げますとともに、皆様にご報告させていただきます。

もう1点は、教育委員が1名代わりました。2期8年にわたってご尽力いただきました、長谷部理絵教育委員が9月30日を持ちまして任期満了となり、代わりまして豊田雅之さんが10月1日付けで教育委員として就任しております。皆様にご報告と共に、今後ともご支援ご協力をいただければと思います。

さて、今日は協議事項が3つございますが、3番目にあります「社会教育施設の現状と課題」で、少しお時間を取っていただくことになるかと思っております。事務局の方もそろっていますので、忌憚のないご意見をいただきながら、今後の方向性について、皆様と協議していければと思っています。よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。協議に入る前に資料の確認をお願いいたします。

資料確認

事務局 では、今後の進行につきましては、木更津市社会教育委員会会議運営規則第2条第4項により議長をお願いいたします。それでは内田議長よろしくお願いいたします。

内田議長 それでは、協議事項（１）各審議会・協議会の報告です。

 各審議会、協議会に委員としてご出席いただいている皆さんから、報告事項があればよろしくお願いします。まず、青少年問題協議会委員の橋本委員、いかがでしょうか。

橋本委員 特にありません。

内田議長 男女共同参画推進委員の中村さん、いかがでしょうか。

中村委員 特にありません。

内田議長 生涯学習推進協議会委員の安藤委員、いかがでしょうか。

安藤委員 ７月に会議があり、生涯学習バス「まなび」、生涯学習市民公開講座について協議しました。市民公開講座で、今年度から木更津工業高等専門学校の先生も講師としてお願いしたことで、市民の方から反応があったということが印象的でした。

 重ねてきた会議の成果が、具体化して良かったです。

白石委員 ９月２７日に、生涯学習フェスティバル第２回実行委員会が行われました。今年度の生涯学習フェスティバル記念講演会の講師は脚本家の大森美香さんです。「あさが来た～一人ひとりが輝く朝をむかえるために～」をテーマにご講演いただきます。社会教育委員の皆様にもぜひご参加いただければと思います。

内田議長 図書館協議会委員の李さん、いかがでしょうか。

李委員 ７月に会議があり、平成２９年度の事業報告と平成３０年度の事業計画について、本日配布されている資料のとおり説明がありました。図書館は、０～２歳児検診の際、親に本の大切さを伝える事業、中学生の職場体験など、さまざまな事業をしていることを知りました。そのような木更津市立図書館の素晴らしいところを知らない人たちに伝えることも私の役割だと思います。

内田議長 ありがとうございました。

 続きまして、協議事項（２）「第５３回君津地方社会教育推進大会について」は、私から説明させていただきます。

 本日の資料としてもお配りしましたが、今年度は富津市が担当市のため７月１４日、富津公民館で開催されました。

 今回も昨年同様「今こそ、社会教育の底力を発揮しよう！」をテーマとして、例年通り、新日鐵のクローバー賞と併せて実施いたしました。

 記念講演会は千葉日報社編集局社会部長の伊澤敏和さんを講師にお迎えしました。講演テーマは「まだまだ見つかる地元の宝～いつもの風景から魅力を再発見～」ということで、皆様が普段ふと目にしているものの中で、気が付いていないけど宝はある。その宝を見つけることで、地域の活性化を図った方が良いのではないかという内容でした。

 また、７月２３日に４市の社会教育委員で反省会を行いました。その際、富津市の事務局から細かく反省点を挙げていただきましたので、次回に活かせればと思っています。今回の参加者は３８５名でした。当日参加された委員の方からも、ご感想をいただければと思います。榛澤委員いかがでしょうか。

榛澤委員 記念講演会では、かずさマジックについての話がありましたが、もう少し踏み込んだ話しも聞きたかったとも思いますが、地元の宝も、あまり観光地化し過ぎると、また違う問題も出てくるので難しいこともあると感じました。

内田委員 蘇我委員、いかがでしょうか。

蘇我委員 このような形の大会になってから約１０年、様々な講師を招いて大会を開催してきましたが、この地域が千葉県の中でも社会教育を先進的に進められているのは、このような歴史があるからだと思います。それも、４市の会長を中心に皆さんが一生懸命に取り組んでいるお陰で良い大会になっていると思いました。

内田議長 ありがとうございます。それでは協議事項（２）は以上といたします。
続きまして、協議事項（３）「社会教育施設（公民館、図書館、博物館）の現状と課題について」でございます。事務局から説明をお願いいたします。

事務局から説明

内田議長 「社会教育施設（公民館、図書館、博物館）の現状と課題について」、事務局よりご説明がありました。このことについて、それぞれの施設ごとにご意見を伺い、協議してまいりたいと思います。また、このことは本日だけではなく、（第３回定例会、第４回定例会と）今年度を通じて掘り下げてまいりたいと思います。

それでは、まず、博物館についてご意見を伺いたいと思います。

今後の博物館のあるべき姿について、皆様の考えを述べていく場でもよろしいと思います。いかがでしょうか。

郷土研究者として、地曳委員、いかがでしょうか。

地曳委員 昨年度に、金鈴塚の小学生向け小冊子を作成していましたが、金鈴塚の古墳は全国的に見ても非常に価値が高いと思うのですが、残念ながら、肝心の地元木更津市民に親しまれていないというのが大きな課題です。

資料に博物館の入館者数のグラフがありますが、特別展を開催したのはいつだったでしょうか。

稲葉副館長 金鈴塚古墳展は市制７０周年の時（平成２４年度）です。また、平成２３年には大刀を復元した展示をしています。

地曳委員 そのような記念すべき展示を行っても、利用者数が格段には増えていない。非常にもったいないと思います。博物館は歴史を調べ、研究するのも大事ですが、調べた成果を広く市民に還元する、多くの人に見てもらうことが博物館の役割だと思います。

入館者が増えないということで、私が思うのは、博物館の職員だけでなく、生涯学習課や教育委員会全体、或いは市、観光協会などオール木更津で経営していくのが良いと思います。加えて、非常勤でも良いので、研究する人、観光資源としてプロデュースする人を増員して、博物館を広く周知することはできないかと思います。学芸員を採用することは難しいのでしょうか。

高澤教育長 毎年度末に、教育委員会として、社会教育主事や学芸員採用の要望は人事担当課に出しておりますが、なかなか専門職採用は少ない現状です。要望はしています。

地曳委員 専門職員も高齢化が進み、退職される方も増えてきているので、そのような方を再任用などで採用した方が良いのではないのでしょうか。

岩埜部長 専門職採用については、今後も協議してまいりたいと思います。

稲葉副館長 現状としては、現在博物館には学芸員が４名おります。一番若い職員が３０歳代、他３人は５０歳代です。その下の若い世代がいらないということで、あと５年もすると核となる職員がいなくなります。入館者数に関しては金のすずだけではなく、全国的に減少している傾向があります。

平成２７年度に戦後７０年の特別展を行なっておりますが、その際に駐車場が少ないということが問題になりました。そこも難しいところです。

- 地曳委員 市の観光協会や、観光振興課と過去に連携をしたことはありますか。
- 稲葉副館長 連携等はしておりませんが、ホームページ等で周知しています。
しかし、ホームページも専門的に作成できるような職員体制がとれていないので、
(ホームページの質ということでは) 課題があります。
- 内田議長 地曳委員のご意見としては、観光（資源）として関連課等と連携することも検討したほうが良いということですね。
- 鉢村委員 博物館はとても素晴らしいと思います。特別展にも行きましたが、何時間でもいられると思いました。木更津総合高校の日本史の先生も、素晴らしいのに知らない人が多いのはもったいない、こんな素晴らしい宝をもっと皆に知らせ、今後も大事にすべきとおっしゃっていました。
ホームページに人員やお金を割かなくても、やれることはあるのではないのでしょうか。駐車場の場所も不便。今回資料をいただき、他にも駐車場があることを知りました。
また、私が小学生の時は、校外学習で博物館に行き、木更津市の歴史について、「わたしたちの木更津」という冊子を利用して学校で勉強もしました。今もそのようなことは行っているのでしょうか。お金をかけなくてもできることはあると思います。
「オーガニックなまち」も、「東京に一番近い田舎」も木更津のキャッチフレーズとしてはとても良いと思いますが、「古代の歴史豊かなまち」というのが最初ではないかと思います。確か木更津第一小学校の校歌にもそのようなことが歌われていたような気がします。金鈴塚古墳も、博物館ももっと自信を持って良いと思います。
- 佐藤委員 「わたしたちの木更津」は、今でも小学校で使用しております。校外学習で博物館にも行っております。
- 稲葉副館長 木更津市だけでなく、君津市、富津市の小学校も校外学習でお越しいただいています。
- 蘇我委員 入館者数については、努力していると感じます。ただ、時代に合わせて、駐車場の整備などをしていかないといけないと思います。また、太田山は、博物館や太田山公園が一体になると、人が来るようになると思います。地曳委員や民間の方が一生懸命、太田山を活性化しようと努力をされていますが、行政がついてきてくれないような気がします。全然手入れがされていません。これは、公民館や他の施設もですが、その施設だけでなく、市全体で考えていかないといけないと思います。間違いなく、良い物がありますし、学芸員の皆様は、良い企画展をやっていますので、全体で考えていければと思います。
- 稲木課長 小学生への周知ですが、昨年度は市内の全ての小学校6年生にパンフレットを配布しました。今年度については、小学校3～5年生に配布できるよう、現在パンフレットを作成しているところです。
また、「木更津検定」の中で、金鈴塚のことを入れてもらうなど、周知にも力を入れております。
- 鉢村委員 小学生を対象とした働きかけを知ることができて安心しました。一方で、高校生の中でも、歴史を専門的に学びたいと思っている生徒はいるので、郷土史を知るきっかけとして博物館で学べるようにしてみたいと思います。ぜひ高校にもお声かけください。
- 熊本委員 ところで、社会教育委員の皆様で、昨年一回も博物館に行かれていない方は手を揚

げていただけませんか。(多くの委員が挙手)

熊本委員 来場者数を増やしていくには、市民もいろいろと考えていかななくてはならないと思いますし、そこで出た意見を行政も聞いていただければと思います。

また、周知方法はホームページだけでなく、拡散力のある方にSNSに取り上げてもらうだけでも、大勢の人に来てもらう効果があると思います。

蘇我委員 ここ2年、4市の観光協会で有名なブロガーをお呼びして、各地をまわり、写真をSNSに挙げてもらうというイベントを行っています。太田山は入っていましたが、残念ながら博物館は入っていませんでした。このような発信は大事だと思います。観光協会に協力してもらい、今後博物館も取り上げてもらえるようにすると良いと思います。また、海外の方は日本を観光する際、どこに行けば良いかをSNSで探しているので、狙い目でもあります。

李委員 以前に博物館の資料がドイツで展示されたことがあったかと思いますが、今日の資料には入っていません。

稲葉副館長 日本を代表する資料の一つとして、「金の鈴」をドイツで展示したことがございます。「金の鈴」が外国に出たのはその1回だけです。平成16年だったと思います。

城戸委員 私は、博物館が好きなので以前は行きましたが、最近は行っていません。理由は、階段が多く急なため、足が悪くて行きづらいからです。トイレも狭くて危ないです。お金がかかることですが、検討していただけると良いかと思います。

榛澤委員 太田山全体を整備して綺麗にすれば、公園も博物館も人が来るようになると思います。高齢者の憩いの場、子どもたちの遊び場、そして隣のホテルでお茶を飲むこともできる、そういう場所になれば良いと思います。

内田議長 皆さんの共通点としては、博物館は郷土の宝であるということ。なので、良い方向に向かってほしいということです。地曳委員たちが中心になり、太田山の整備を頑張っているのですが、もっと大きな運動になって行政も加わっていただければ、太田山全体が一つの観光資源あるいは憩いの場になります。そのためには、駐車場の確保、SNS等での情報の発信、建物の老朽化への対応など力を入れていただければと思います。これは今日すぐに結論を出す話ではありませんから、今後継続的に皆さんで協議していければと思います。

続きまして、図書館についてご意見を伺えればと思います。いかがでしょうか。

蘇我委員 図書館も先ほど李委員がおっしゃったように、見た目（施設が古い）と中身（事業）が違うと思います。住んでいる人にとって、図書館や博物館、公園などは欠かせないものだと思います。今日の配布資料にあるように、博物館、図書館、公民館とも、良い企画をやっています。なので、関心を持ってもらえるようにした方が良く、現代に合っていない部分については、合せていくようにした方が良くと思います。そうなるように、皆さんの知恵が出てくると良いと思います。図書館は本当に大勢の方が利用しています。図書館長、図書館としてなにか困っていることはありますか。

渡邊館長 木更津市図書館は、近隣市の図書館に比べると古く、博物館と同様に建設当時は車での来館を想定していなかったようで、駐車できる台数が少なかったのですが、何度か増設し、現在85台の駐車スペースがあります。でもまだ狭いと思います。施設面でもトイレ、配架スペース、空調など老朽化していると思います。

貸し出し人数は年間延べ88,000人くらい利用していますが、平成25年度がピークで徐々に下降しています。これは全国的な傾向です。

- 石村委員 ソフト面では大変充実していることがわかりましたが、図書館を建て直す、あるいは新しい図書館の建設予定はありますか。
- 渡邊館長 公共施設再配置計画など、市全体での取り組みになりますが、まずは図書館の耐震の問題がありますので、中期的にはそちらを中心にやっていきたいと思っています。
- 高澤教育 耐震については、急がなければいけないということではあります。ですが、鉄筋コンクリート造については50～60年くらいと言われているので、躯体の耐用年数と耐震とは別の話です。本市もあと10～15年くらいしますと、学校や公民館、図書館などが老朽化を迎えます。その時はある程度大きな視野の中で、学校は社会教育施設との複合をしていく可能性もあると思います。再配置計画と絡めながら中長期的に検討していきたいと思います。
- 岩埜部長 本市は施設が多く、すべての施設の維持が難しくなるというのもあり、施設の縮減、複合化が再配置計画の中で示されています。
- 佐藤委員 学校関係では、キャリア教育等を含めてお世話になっておりますが、その中で一つ質問をさせていただきます。ネット環境の貸し出しの予約は出来ますか。
- 渡邊館長 図書館でパスワード登録をしていただいて、予約などのサービスが受けられるようになっています。
- 佐藤委員 そこで、もう一つ先に話を進めて、学校の図書室とのオンライン化が進むと、授業で使用する資料が学校にはないけど、図書館で用意できるとか、いろいろなことができるかなど。また、将来、図書館を介して学校間での貸し借りも出来るように整備されたら良いと思います。
- 渡邊館長 現在、学校にオンラインでの貸し出しは行っていないですが、団体貸し出しで、学校の先生から必要な条件を頂いて、それに合わせた貸し出しはさせていただきます。ただ、システム化するにはクリアしなければならない問題もあります。
- 蘇我委員 今図書館は、ハードの時代からソフトの時代が変わってきていると思います。清和大学も素晴らしい図書館を持っていますし、そのようなところともネットワークを組んでいければ良いと思います。
- 岩埜部長 学校図書の蔵書についてデータ化して管理していきます。
- 内田議長 そのような取組みの中で、木更津市の小中学校だけではなく、先ほど蘇我委員がおっしゃったように、清和大学や木更津高専などともつながっていければ良いですね。
- 渡邊館長 清和大学と木更津市が連携協定を結んでおりますので、清和大学の図書館の蔵書も相互に借りることができます。
- 内田議長 なかなか、博物館や図書館に行くことがない方も多いので、社会教育委員会議を、図書館や博物館の会議室で行うのも面白そうですね。
- 鉢村委員 図書館の2階には、今も自習室がありますか。
- 渡邊館長 自習室として開放しております。使用できる日はホームページで周知しています。
- 内田議長 図書館については、スペースが狭い、建物の老朽化などが問題としてあるようですが、他市、市内の学校などとのネットワークということがキーワードとして出てきました。また今後も皆さんと協議してまいりたいと思います。
- それでは、最後に、公民館についてご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。
- 鶴岡委員 9月27日に公民館運営審議会の第2回定例会があり、その中で、2つほど話がありました。1つ目は公民館の再配置計画では、現在1中学校区に1つ以上ある公民館

を旧行政区の8地区を基本に統合を進めるということでした。ですが、その8地区ですと人口構成などに偏りができて、公民館配置の区割りとして馴染まないのではないかと、という意見が強くありました。今後は人口の推移なども踏まえて、行きやすく使いやすい、防災の拠点ともなるなど様々な点を考慮しながら再配置計画を進めて行ったほうが良いという意見がございました。

2つ目は、金田公民館がなくなり、金田地域交流センターができるということで、所管は市民部になりますが、金田地域の社会教育を継続していくために、社会教育主事を配置し、公民館機能を維持してほしいとのことでした。

蘇我委員 現在、中央公民館が仮移転でスパークルシティの中にあり、複合施設という形ははじめてだと思いますが、状況はいかがでしょうか。

石井館長 7月21日にスパークルシティ6階、アクア木更津B館3階に仮移転しました。今まで定期利用団体は160ぐらいであったのが、30団体減少しました。5団体は有料化になったことも含めてですが解散し、25団体は近隣の公民館に活動拠点を移しました。また、8月の利用状況ですが、昨年度と比べますと、約8割の利用となりました。

音が響く、空調が一括管理なので調整が難しい、ということがあります。利用者の皆さんにはあくまでも仮移転でいずれ本移転があるということを踏まえて活動して欲しいと伝えています。

板垣委員 地元住民としての意見です。地元住民の意見を汲んで駅前に移転していただいたことは大変嬉しいです。部屋の印象としては、やはり、仮移転なので部屋がいびつだったり、柱が部屋の中にあったり、防音ではないということ。後は、火が使用できないことが不便です。住民会議で「わがまちたんけんぽんぽこラリー」というウォークラリーを行っています。その際、今まで中央公民館の調理室で豚汁をつくり配布していましたが、今年度は第一小学校をお借りすることになりました。また、公民館に宿泊する事業を実施していましたが、スパークルシティには宿泊はできないということで、今年は実施できませんでした。公民館まつりは会場が2つに分かれているので、行ったり来たりになってしまいます。それと、避難所として使えないので、一中学区の住民は、文京公民館か桜井公民館まで行かないといけないことが気になります。

石村委員 仮移転して、良かったと思うことはありましたでしょうか。

板垣委員 綺麗になったことは良かったと思います。また、立派な建物なので安心ですし、駅から近いのも良いです。

内田議長 今後、公民館は、学校や他の施設と複合されていくと思いますが、そのあたりの将来の展望について伺いたいのですが。

高澤教育長 先進的には、図書館や小学校、市役所と複合化しているところがあります。ですが、第一中学校と中央公民館の複合化については、決定ではありません。あくまでも、そのような可能性も含めて検討する、ということです。学校との複合化は、難しいです。

現在も、学校は正門を閉めるなど、不審者への対応を強化していますので、その中で公民館と一緒にするというのは、なかなか馴染まないと思います。一番良いのは、今ある学校が立て替えの時期を迎えて、新しい校舎を造る時に、導線を分けて複合化していくのが良いと思います。全国的にも、新しい校舎を建てる時に、複合化していくことが多いです。これからクリアしていかないといけない課題もたくさんありますので、それを踏まえながら進めていくことになります。かなり準備が必要になると

思います。

内田議長 中央公民館が複合施設になったので、データを取っていただいて、将来に役立てていかれば良いと思います。

石井館長 社会教育主事有資格者が退職していくということも大きな課題ですので、公民館に専門職を置くことに関して、委員の皆さんにもご意見いただきたいと思います。

中村委員 木更津市中規模ホール整備基本構想検討委員会のワークショップが実施されています。ぜひ社会教育委員の皆さんに参加していただきたいと思います。

内田議長 それでは、協議は終了させていただきます。

続いて、(2) その他ですが、何かありますか。

事務局 (1) 生涯学習フェスティバル2018について(事務連絡)

(2) 第53回千葉県社会教育振興大会について(事務連絡)

(3) 第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会について(事務連絡)

(4) 公民館文化祭の視察について(事務連絡)

(5) 第3回社会教育委員会義について(事務連絡)

内田議長 他にないようでしたら、以上を持ちまして「平成30年度社会教育委員会議第2回定例会」を閉じさせていただきます。ありがとうございました。